

2025年度
第5回 理事会議事録

2025年 9月 16日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

2025年度 第5回理事会議事録

1. 日 時 2025年9月16日（火） 11:50～14:40

2. 場 所 鉄鋼会館 802号室

3. 構 成 員 14名

4. 出席構成員 14名（別紙 出席者名簿参照）

5. 議事次第

- (1) 開会の辞
- (2) 定足数確認報告（定款第36条）
- (3) 会長挨拶
- (4) 前回理事会議事録の確認
- (5) 報告事項
 - 1) 賛助会員との懇談会実施について
 - 2) 委員会等活動状況報告
 - ① 運営委員会
 - ② 技術委員会
 - ③ 外部団体との意見交換会対応WG
 - 3) 鉄建協との要望活動（共同陳情）について
 - 4) 輸入材（鉄骨製品、鉄骨部材等）問題について
 - 5) 支部からの要望について
 - 6) 管理者の届出について
 - 7) その他
 - ① 賛助会員の新規入会について
 - ② 豪雨等災害対応について
 - ③ 規程類の修正について
 - ④ その他
- (6) その他の定例報告事項
 - 1) 構成員登録状況
 - 2) 着工面積と推計鉄骨需要量
 - 3) 2025年度主要会議日程
 - 4) 支部報告
- (7) 閉会の辞

6. 議事要旨

(1) 開会の辞

進行役の山田専務理事より開会する旨が告げられた。

(2) 定足数確認報告

山田専務理事より、本理事会は 14 名すべての理事が出席されており、定款第 36 条（理事会の定足数）に基づく成立要件となる定足数が満たされていること、また、監事も 2 名全員に出席いただいていることが報告された。

(3) 会長挨拶

永井会長より「足元では各地で災害が発生し、また仕事量も厳しい状況が継続しています。その様な環境の中で海外材も入ってきており、どの様な対応をしていくべきか、皆さんとご相談してきたい。一方、先の仕事については、少し見えてきているとの情報もあり、出口に向けて皆さんと協力して何とか凌いでいきたいと思っていますのでよろしくお願いします。」との挨拶があった。

(4) 前回理事会議事録の確認

山田専務理事が、2025 年度第 4 回理事会の要点を読み上げ、確認了承された。

(5) 報告事項

1) 賛助会員との懇談会実施について

賛助会員との懇談会について、別冊資料に沿って説明され、本日の進行、段取りが確認された。

2) 委員会等活動状況報告

① 運営委員会

運営委員について、議案書（p3-5）と別冊に沿って、妹尾委員長より、以下の内容が説明され確認された。

- ・ 共済制度（保険関係）啓発用の勉強会資料（テキスト）について説明があり、合わせて勉強会開催の協力要請があった。
- ・ 8 月 29 日開催の「人づくり研修 2025 模擬研修」の内容について確認された。
- ・ 共済の材料関係については、問題点の洗い出しを進めているとの報告があった。
- ・ 認定制度（すまいる職場認定）については、実装に向けて検討中。
- ・ 動向調査については、回答率が目標 70% に対し、81.2% となった。あらためて、皆様のご協力に感謝申し上げます。
- ・ 動向調査の内容的について、決算状況、売上・生産トン数、従業員数等の報告があった。
- ・ 鉄骨製作図問題、特に「見積条件特記事項（全構協統一様式）」等の使用状況と回答者の意見について報告があった。鉄骨製作図問題に関しては、今後の浸透・活動について協議を継続することとした。

②技術委員会

技術委員会について、議案書（p6-12）に沿って、岩永委員長より内容が説明され、確認された。

- ・ S 造化関連の報告があり、木造化の実態調査、木造化に関する法律、補助金等について説明があった。特に、木造化に関する補助金については、非常に大がかりに行われており、S 造化を考えるにあたり、単純に木造と競うということでは難しいという意見が委員会でも出ている。
- ・ 今後の取組みとして、木との対立ではなく、ハイブリット化等、木と組んで進めていく、共存していくという方向が提案された。発信方法等を含め、引き続き、検討を行うこととした。
- ・ 機械メーカー等との連携による生産性向上については、CAD をとりあげ深掘りを進めていく方向で進めている。
- ・ 溶接施工 WG の活動については、11 月 7 日に報告会を実施予定。

③ 外部団体との意見交換会対応 WG

外部団体との意見交換会対応 WG について、議案書（p13-14）に沿って、登尾リーダーより説明された。

- ・ 各地区の意見交換会の内容を深掘りし、検討の進め方を整理した。
- ・ 今後の取組みとして、以下の内容で進めていくことが確認された。
 - i 各地区の交流活動を支援する様な環境・情報・資料を整備すること
 - ii 各地区で行っている交流内容について情報共有を行うこと
 - iii 中央で行っている要望活動等の交流の内容を共有すること
- ・ 各地区で行っている意見交換会等に対して、全構協で支援・助成することに関する提案があった。

3) 鉄建協との要望活動（共同陳情）について

鉄建協との要望活動（共同陳情）について説明され確認された。

- ・ 今回の要望活動のポイントとしては、海外材、働き方（閉所対応）、S 造化が主要な内容であると整理している。
- ・ 要望活動は有益な活動であり、主要なポイントだけではなく、議事録を展開し、構成員に対して情報提供する方向で検討中。具体的には、会社名、発言者等を見えなくした状態で、HP 等で開示する方向で検討することとした。
- ・ 要望活動のテーマの 1 つであるミルシートの電子化については、色々な検討が進んでおり、協会としては各検討の進捗を確認している状況である。

4) 輸入材（鉄骨製品、鉄骨部材等）問題について

輸入材（鉄骨製品、鉄骨部材等）問題について、別冊資料に沿って説明され内容が確認された。

- ・7月25日の国交省訪問も踏まえ、今後、海外材の取組み・対応を継続していくことが確認された。
- ・一方、品質的に問題のある海外材が入ってきているという事実があり、注意喚起を行っていく必要があることが確認された。配布資料に基づき、問題を共有するとともに、各事業者への注意喚起に繋げることが確認された。

5) 支部からの要望について

- 九州支部からの要望について説明され確認された。
- ・事務局長会議の開催方法について
事務局長会議については、2026年度4月は予定通り実施。実開催を前提とした行事であり、WEB対応も行わない方針。但し、今後の開催時期については、アンケート等による確認を実施することとした。
- ・鉄骨製作管理技術者他 資格試験の年2回開催について
管理技術者資格等の試験を2回実施することについては、過去の検討経緯も踏まえ、対応が困難であることが執行部から説明された。但し、足元議論されている管理者の届出対応の件も踏まえ、今後の試験の対応等については、協議を継続することとした。

6) 管理者の届出について

- 管理者の届出について、資料に沿って説明があった。
- ・評価機関と国交省の協議の中で、一定の期間のブランクがあった場合、失効することになるとの報告があった。ブランク期間は認めないというのが、国交省の基本的な立場であるが、実際に失効になる場合のブランクの期間については、少なくとも6ヶ月を超えるものはその対象になるとの発言があった。
- ・今後は、性能評価機関が毎年調査を実施し、ブランク等の問題があった場合は、国交省に報告することが説明された。
- ・本内容の実施は来年2026年4月からの予定であることが確認された。

7) その他

① 賛助会員の新規入会について

- 賛助会員の新規入会に関する事前協議について説明され確認された。
- ・コンドーテック、ローバル工業の2社から入会要望が出ていることについて説明があり、事前協議が行われた。
- ・コンドーテック、ローバル工業の入会については、次回の理事会で正式に審議することとした。
- ・一方、海外メーカーの日本国内販売会社から入会要望が来ていることも報告された。海外メーカーの入会をどうするかという課題について、理事会の中でも様々な意見が出た。今後も、海外企業から入会希望が来る可能性もあり、対応の考え方・ルール設定について、協議を継続することとした。

② 豪雨等災害対応について

- 九州地区を中心とした豪雨災害の状況について、岩永理事より報告があった。
- ・今回の豪雨により、福岡県、長崎県、熊本県の会社で被害が出ているとの情報が来ている。特に工場に被害が出た所では、一部の機械に影響が出たとの報告もあがっているが、現在は概ね復旧しているとのこと。
- 各方面からご連絡もいただいております、この場を借りてお礼申し上げます。

③ 規程類の修正について

規程類の修正について説明が行われた。

今回の修正としては、社団法人から一般社団法人へ変わった時の変更が出来ていなかったことにもなう対応、文言の一部訂正という内容であることが説明された。

(6) その他の定例報告事項

1) 構成員登録状況

本日現在の構成員数は、前回報告時(7月22日理事会)から3社減の2130社であること等が、議案書(p20-23)により報告された。

2) 着工面積と推計鉄骨需要量

2025年度7月の鉄骨推定所要量は、前年比79.6%の25.8万トンとなった。

3) 2025年度主要会議日程

主要会議日程が、議案書(p25)により確認された。

4) 支部報告

時間の都合により、特に要望のあった近畿支部のみ報告をおこなった。

[近畿]

- ・近畿支部内のK-SIC（関西鉄骨探求会）の活動について報告。
- ・内容的には、「剛接合部周りのデッキ受け材溶接」に関する取組みの紹介。
- ・実験を行い有効性が確認出来た場合は、皆さんと成果を共有したい。

(7) 閉会の辞

以上をもって、報告事項等、予定された事項が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

以 上

(別 紙)

出席者名簿

会 長	永 井	毅
副 会 長	大 竹	良 明
〃	板 垣	昌 之
専務理事	山 田	安 彦
理 事	竹 原	慎 雅
〃	三 浦	隆 宏
〃	安 達	次 雄
〃	前 田	正 美
〃	稲 垣	法 信
〃	佐 野	勝 也
〃	妹 尾	一 人
〃	登 尾	昌 弘
〃	岩 永	洋 尚
理 事(相談役)	米 森	昭 夫
監 事	村 上	眞 樹
〃	吉 岡	晋 吾

理事総数	14名	うち出席者	14名
監事総数	2名	うち出席者	2名